

# 届出

[平成20年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

四天王寺大学 教育学部

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 四天王寺学園  
平成21年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 課長代理 マス 榎 セイ 井 カツ 克 ヒロ 廣

電話番号 072-956-9913

（夜間） 072-956-3181

F A X 072-956-9940

e-mail k-masui@shitennoji.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 四天王寺学園

## (2) 大学名

四天王寺大学

## (3) 大学の位置

〒583-8501  
大阪府羽曳野市学園前三丁目2番1号

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(モリタ シュンロウ) 森田 俊朗 (平成17年4月)		
学長	(オクダ セイメイ) 奥田 清明 (平成16年4月)	(ウスイ ミネオ) 碓井 岑夫 (平成20年4月)	任期満了による変更(21) (平成20年4月1日)
学部長	(ウスイ ミネオ) 碓井 岑夫 (平成20年4月)		
学科長等	(カワグチ タカオ) 川口 隆雄 (平成20年4月)	(ハヤシダ ヨシロウ) 林田 嘉朗 (平成21年4月)	任期満了による変更(21) (平成21年4月1日)

- (注) 1. 『(3) 大学の位置』は、届出学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。
2. 『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成21年度に報告する内容 → (21)

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は, 平成19年度開設の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)  
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 教育学科  学士(教育学)	4年	180人	3年次 15人	750人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

今年度は平成22年度欄の記入は不要です。

区分	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員超過率	備考
A	入学定員	( )人	180人 (-)	180人 (-)	( )人	1.26倍	
	志願者数	( )	(-) 1,369	(-) 1,444	( )		
	受験者数	( )	(-) 1,224	(-) 1,292	( )		
	合格者数	( )	(-) 394	(-) 384	( )		
B	入学者数	( )	(-) 220	(-) 234	( )		
	入学定員超過率 B/A	( )	(-) 1.22	(-) 1.30	( )		

- (注) 1 ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

今年度は平成22年度欄の記入は不要です。

学年	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次		[ ]	[ - ] 220	[ - ] 234	[ ]	平成21年度2年次生について、学則第40条(転学部転科)により平成20年5月1日付で1年次学生数は220名であったが、上記制度により教育学部へ8名転入し、他学部へ1名転出した。また、除籍により1名が減少したため最終的には平成21年度2年次生は226名となった。
2年次		[ ]	[ ]	[ - ] 226	[ ]	
3年次		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
4年次		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
計		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) 1 [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ %]
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 [ - ]	(累積)計 [ - ]	[ - %]
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	0 %
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 220人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [ - ]	(累積)計 [ - ]	[ - %]
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	0.2 %
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 220人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 234人	
(主な退学理由) 除籍1名			
平成22年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ %]
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数の割合」欄は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な退学理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
- ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<教育学部 教育学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	仏教Ⅰ（瞑想）	1前	1									
	仏教Ⅱ（瞑想）	1後	1									
	仏教Ⅲ（写経）	2前	1									
	仏教Ⅳ（写経）	2後	1									
	聖徳太子概説	1前/後 1-2	2									学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更（21）
	人権・同和問題論	1-2-3	2									学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更（21）
	情報処理演習Ⅰ	1前/後		2			1					※1 教育効果の充実に図るため担当者の変更（21）
	情報処理演習Ⅱ	1前/後		2			1					
	数学演習Ⅰ	1前/後		2								
	数学演習Ⅱ	1前/後		2								
	数学演習Ⅲ	1前/後		2								
	生命の科学	1・2前/後		2			1					※2
	環境の科学	1・2前/後		2								
	化学の世界	1・2前/後		2								
	物理の世界	1・2前/後		2								
	地球と宇宙	1・2前/後		2								
	先端技術	1・2前		2								集中
	英語Ⅰ	1前	1									
	英語Ⅱ	1後	1									
	英語Ⅲ	2前	1				1			1		学生の学習効果を高める理由により、担当教員を専任で配当した（21）
	英語Ⅳ	2後	1				1			1		
	ドイツ語Ⅰ	1前		1								※3
	ドイツ語Ⅱ	1後		1								
	ドイツ語Ⅲ	2前		1								
	ドイツ語Ⅳ	2後		1								
	フランス語Ⅰ	1前		1			1					
	フランス語Ⅱ	1後		1			1					
	フランス語Ⅲ	2前		1								
	フランス語Ⅳ	2後		1			1					
	中国語Ⅰ	1前		1								
	中国語Ⅱ	1後		1								
	中国語Ⅲ	2前		1								
	中国語Ⅳ	2後		1								
	日本語Ⅰ	1前 未開講		1								履修希望者がいなかったため（21）
	日本語Ⅱ	1後 未開講		1								履修希望者がいなかったため（21）
	日本語Ⅲ	2前		1								
	日本語Ⅳ	2後		1								
	大学基礎演習	1前	2				8	3	2			初年次教育科目が全学共通の一般科目となり新たに開設したため（21）
	日本国憲法	1前/後		2								
	法学Ⅰ（国際法を含む）	1前		2								
法学Ⅱ	1・2後		2									
政治学	1-2-3前/後 1		2								学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更（21）	
経済学Ⅰ	1-2-3前/後		2								学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更（21）	
経済学Ⅱ	1・2後		2									
社会学Ⅰ	1-2-3前 1		2								学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更（21）	
社会学Ⅱ	1-2-3後 1		2								学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更（21）	

一 般 科 目	心理学Ⅰ	1・2・3前 4	2					学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	心理学Ⅱ	1・2・3後 4	2					学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	哲学Ⅰ	1・2・3前 1→2	2					学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	哲学Ⅱ	1・2・3後 1→2	2					学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	社会福祉概論	1・2・3前/後	2					
	社会福祉行政	1・2・3前/後	2					
	児童福祉論	2・3・4前/後	2					
	老人福祉論	1・2・3前/後	2					
	障害者福祉	1・2・3前	2					
	レクリエーション論	1・2・3前/後	2					
	介護等体験研究	2・3・4前	2					
	スポーツⅠ	1・2・3前	1			1		学生指導の充実を図るため、専任教員を増員(21)
	スポーツⅡ	1・2・3後	1			1		
	体育講義	1・2後 1・2・3・4前/後	2					学生の過剰な履修登録を防ぎ、学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	共通教育研究	1→2→3	(注1) 2					
	キャリア研究	1・2・3前/後	(注1) 2					
	学外実地研修	1・2・3前/後	(注2) 2					
海外語学研修	1・2・3・4前/後	(注3) 1～8 (注2)						
知識・技能研究Ⅰ	1・2・3・4前/後	2						
知識・技能研究Ⅱ	1・2・3・4前/後	2						
専 門 科 目	教育人間学	1前/後 2・3・4後	2		1	1		学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21) 担当者の職位変更(21)
	特別支援教育	2	2					
	教育原論	1前	2		2	1		2名の内、1名が職位変更(21)
	教職論	1前/後	2			1		
	教育制度論	1前/後	2		1	1		
	道德教育の研究	2・3・4前/後 2	2			1		学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	特別活動の研究	2・3・4前 2	2		1	1		学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21) 担当者の職位変更(21)
	生徒指導論(進路指導含む)	2・3・4後 2	2		1			学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	教育の方法・技術	2前/後	2		1			平成20年4月 碓井考夫教授の学長就任に伴い、担当者の変更(21)教職課程認定に伴い、文部科学省教職員課免許係より指導があり、科目名称を変更及び統合した。(21)
	教育の方法・技術Ⅰ	2	2		1			
	教育の方法・技術Ⅱ (教育課程の意義及び編成の方法を含む)	2・3・4前/後	2			1		学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21) 平成20年4月 碓井考夫教授の学長就任に伴い、担当者変更及び職位の変更(21)
	教育課程総論	2	2		1	1		
	総合演習	2前/後	2		1	1		担当者の職位変更(21)
	教育心理学	1前/後 2・3・4前	2			1		学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	発達心理学	2	2			1		
	教育相談の理論と方法	2・3・4前/後	2					教員の所属変更に伴い兼任教員に担当変更した(21) 教職課程認定に伴い、文部科学省教職員課免許係より指導があり、科目名称を変更した。(21)
	スクールカウンセリング	2	2			1		
	メディア教育演習	4前	2					学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	日本語表現	1後	2		1	1		担当者の職位変更(21)
	授業研究(教職実践演習)	4後	2		3	6	1	担当者の職位変更(21)
外書講読	3	2						
学校インターンシップ実践研究	2前/後	2			2		教員養成課程の学修を充実させるとともに、学生の負担を軽減するため科目を廃止(21) 学校現場で多様な教員の職務を体験し、その多様性を理解するため新たに開設(21)	
卒業研究	4後	4		9	9	2	研究指導	
比較教育学	3前	2			1		隔年開講	

専 門 科 目	教育社会学	2前 2・3・4後	2			1			隔年開講
	教育行財政学	2	2			1			隔年開講 学生の学習効果を高める理由により、 配当年次を変更 (21)
	教育史	3 3・4後	2		1	1			隔年開講 学生の学習効果を高める理由により、 配当年次を変更 (21) 担当者の職位変更 (21)
	数理特論 I	2前/後	2			1			コース必修科目
	数理特論 II	2前/後	2			1			コース必修科目 学生の学習効果を高 める理由により専任教員を増員した (21)
	国語 (書写を含む)	2前/後	2			1	1		コース必修科目 平成21年3月 坂口豊教授の退職に伴い、兼任講師と なったため担当者の変更 (21) 担当者の職位変更 (21)
	算数	2前/後	2			1			コース必修科目
	理科	2前/後	2			1 2			コース必修科目 平成21年3月 蓮間忠芳教授が短期大学部へ所属異動 となり、兼任教授となったため担当者 の変更 (21)
	社会	2前/後	2					2	コース必修科目
	生活	1前	2						
	音楽理論	1前	2			1 2	1		担当者の職位変更 (21)
	音楽	1後	2			1	1		担当者の職位変更 (21)
	家庭	1前/後	2						
	美術理論	1前	2						
	図画工作	1前/後	2			1			
	体育理論	2後	2				1		学生指導の充実を図るため、専任教員を増員 (21)
	専門体育	2前	2				1		学生指導の充実を図るため、専任教員を増員 (21)
	保健	2後	2			1	1		担当者の職位変更 (21)
	国語科教育法 I								
	教材研究国語 I	3前		1			1		
	国語科教育法 II								
	教材研究国語 II	3後		1			1		
	社会科教育法 I								
	教材研究社会 I	3前		1				1	
	社会科教育法 II								
	教材研究社会 II	3後		1				1	
	算数科教育法 I								
	教材研究算数 I	3前		1			1	1	担当者の職位変更 (21)
	算数科教育法 II								
	教材研究算数 II	3後		1			1	1	担当者の職位変更 (21)
	理科教育法 I								
	教材研究理科 I	3前		1			1		
	理科教育法 II								
	教材研究理科 II	3後		1			1		教職課程認定に伴い、文部科学 省教職員課免許係より指導があ り、科目名称を変更した。(21)
	生活科教育法 I								
	教材研究生活 I	2前		1					
	生活科教育法 II								
	教材研究生活 II	2後		1					
	音楽科教育法 I								
	教材研究音楽 I	2前		1					
	音楽科教育法 II								
教材研究音楽 II	2後		1						
図画工作科教育法 I									
教材研究図工 I	2前		1			1	1		
図画工作科教育法 II									
教材研究図工 II	2後		1			1	1		
家庭科教育法 I									
教材研究家庭 I	2前		1						
家庭科教育法 II									
教材研究家庭 II	2後		1						
体育科教育法 I									
教材研究体育 I	3前		1						
体育科教育法 II									
教材研究体育 II	3後 2・3・4前		1					学生の学習効果を高める理由により、 配当年次を変更 (21)	
幼児教育課程総論	2		2			1			
保育内容研究 I (健康)	2後		2						
保育内容研究 II (人間関係)	3後		2						
保育内容研究 III (環境)	3前		2			1			



専 門 科 目	英米文学講読	2前 4	2				学生の学習効果を高める理由により、 配当年次を変更 (21)
	英米児童文学講読 I	2前	1				コース必修科目
	英米児童文学講読 II	2後	1				コース必修科目
	英国伝承文学 (詩・諺)	2前 3	2	1			学生の学習効果を高める理由により、 配当年次を変更 (21)
	英語ドラマセミナー						学生にとって分かりやすい科目名称と したため、科目名称を変更 (21)
	ドラマ教育	3前	2				コース必修科目
	コミュニケーションミナ I	1前	1		1		コース必修科目 教育効果の充実を図 るため担当者の変更 (21)
	コミュニケーションミナ II	1後	1			1	コース必修科目 教育効果の充実を 図るため担当者の変更 (21)
	コミュニケーションミナ III	2前	1			1	コース必修科目
	ライティング	2後	2			1	
	インターネット英語	2後	1				コース必修科目
	英語プレゼンテーション	3前	2		1		
	比較文化論	1前	2			1	
	異文化理解 III	2前					
	環境問題の英書講読	3	2				学生の学習効果を高める理由 により、配当年次を変更 (21)
	異文化研究 II						教職課程認定に伴い、文部科学 省教職員課免許係より指導があ り、科目名称を変更した。(21)
	現代国際関係研究	4前	2		1		
	異文化理解 I						コース必修科目
	多文化共生と諸言語	2前	2				学生の学習効果を高める理由 により、配当年次を変更 (21)
	異文化理解 II	2前					
	英国・日本の歳時記	3	2				コース必修科目
	異文化研究 I						
	日常生活の英語表現	3前	2				
	異文化研究 III						
	西洋思想研究	4後	2				
	英語科教育演習 I	3前	2	1	2		コース必修科目
	英語科教育演習 II	3前	2	1	2		コース必修科目
	英語科教育演習 III	4前	2	1	2		コース必修科目
	英語科教育演習 IV	4前	2	1	2		コース必修科目
	英語科教育法 I	1前/後	2			1	
	英語科教育法 II	2前/後	2			1	
	英語科教育法 III	2後	2			1	
	英語科教育法 IV	3前	2			1	
	教育実習指導 (英語)	3前	1			1	
	教育実習 I (英語)	3前	4			1	
	教育実習 II (英語)	3前	2			1	
	学校保健 I (学校安全を含む)	1後	2		1		コース必修科目 担当者の職位変更 (21)
	学校保健 II (歯科保健を含む)	2前	2		1		担当者の職位変更 (21)
	小児保健	3前	2			1	
	精神保健	2前	2				
	養護概説	1前	2		1		コース必修科目 担当者の職位変更 (21)
	健康相談活動	3後	2		1		担当者の職位変更 (21)
	保健統計学	3後	2				
	栄養学	1前/後	2		1		コース必修科目
	食品学	3前	2				
	解剖生理学 I	1後	2		1		コース必修科目
	解剖生理学 II	2前	2		1		
	解剖生理学演習	3前	2		1		担当者の職位変更 (21)
	運動生理学	4後	2			1	学生指導の充実を図るため、専任教員を増員 (21)
	薬理学	4前	2				
	微生物学 (免疫学を含む)	3後	2				
	生化学	4後	2			1	教員の所属変更のため、専任教員より兼任教員に変更した。(21)
救急処置	1前/後	2		1		コース必修科目	
看護学 I (医学概論)	1前	2					
看護学 II (外科学)	1後	2		1			
看護学 III (内科学)	1後	2				コース必修科目	
看護学 IV (小児看護学・眼科学)	2前	2		1			
学校看護学演習	1後	2		1		担当者の職位変更 (21)	
臨床看護学演習	2後	2			1		
衛生学	2前/後	2				コース必修科目	
公衆衛生学 I (予防医学を含む)	2前/後	2				コース必修科目	
公衆衛生学 II	2後	2			1		
公衆衛生学演習	3前	2			1		
健康管理学	3後	2		1		担当者の職位変更 (21)	
保健行動学	4後	2		1		担当者の職位変更 (21)	

専 門 科 目	環境保健学	4前	2									
	労働基準法	4前	2									
	労働安全衛生法	4後	2			1						
						3	1					担当者の職位変更 (21)
	保健科教育演習Ⅰ	3前	2			2	2					コース必修科目
						3	1					担当者の職位変更 (21)
	保健科教育演習Ⅱ	3後	2			2	2					コース必修科目
						3	1					担当者の職位変更 (21)
	保健科教育演習Ⅲ	4前	2			2	2					コース必修科目
						3	1					担当者の職位変更 (21)
	保健科教育演習Ⅳ	4後	2			2	2					コース必修科目
	保健科教育法Ⅰ	1後	2			1	1					担当者の職位変更 (21)
	保健科教育法Ⅱ	2前	2			1	1					担当者の職位変更 (21)
	保健科教育法Ⅲ	2後	2			1	1					担当者の職位変更 (21)
	保健科教育法Ⅳ	3前	2			1	1					担当者の職位変更 (21)
	教育実習指導 (保健)	3前	1			1	1					担当者の職位変更 (21)
	教育実習Ⅰ (保健)	3前	4			1	1					担当者の職位変更 (21)
教育実習Ⅱ (保健)	3前	2			1	1					担当者の職位変更 (21)	
養護実習指導	3前	1			1	1					担当者の職位変更 (21)	
養護実習	3前	4			1	1					担当者の職位変更 (21)	

※1 いずれか1科目2単位を選択必修とする。

※2 4科目8単位を選択必修とし、かつその内に数学演習Ⅰ～Ⅲの内、いずれか1科目2単位を含んでいること。

※3 ドイツ語Ⅰ～Ⅳ、フランス語Ⅰ～Ⅳ、中国語Ⅰ～Ⅳ、日本語Ⅰ～Ⅳのいずれか同一外国語の4科目4単位を選択必修とする。但し、日本語Ⅰ～Ⅳについては日本語を母語としない学生を対象とする。

(注1) 本学の定めるところにより、時代のニーズや情報及び学生にとって役立つ内容等を提供する科目を開講する。

(注2) 別に定める規程に基づき単位を認定する。

(注3) 海外語学研修の単位(1～8単位)については、別に定める規程に基づき認定する。

## (2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 14	科目 242	科目	科目 256	科目 14	科目 241	科目	科目 255	教員養成課程としての学修を充実させるとともに過度な単位修得を抑えたこと、及び教職課程認定に伴う教職員課免許係からの指導等により、最終的に1科目数の減少となった。
				[ - ]	[ -1 ]	[ - ]	[ -1 ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	日本語Ⅰ	1	1	一般	選択	履修希望者がいなかったため。(※留学生を対象とした科目)
2	日本語Ⅱ	1	1	一般	選択	履修希望者がいなかったため。(※留学生を対象とした科目)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	教育の方法・技術Ⅰ	2	2	専門	選択	教職課程の認定に伴い、文部科学省教職員課免許係より指導を受けた結果、「教育の方法・技術Ⅰ」、「教育の方法・技術Ⅱ」を統合し「教育の方法・技術」とした。
2	外書講読	2	3	専門	必修	多様な学生（併修免許希望者）の要望と、教員養成課程として本来の専門教育の充実を図った結果、学生の授業外での学修時間を確保するために科目を廃止した。
3	教育学・教科研究法Ⅰ	2	1	専門	選択	全学共通の初年次教育科目「大学基礎演習」を新たに開設したことにより、「教育学・教科教育法Ⅰ」と「教育学・教科教育法Ⅱ」を統合し「教育学・教科研究法」とした。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・未開講科目の「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」に関しては、日本語を母国としない学生のみ履修可能となっており、履修希望者がいなかったため今年度は未開講とした。  
 ・廃止科目に関しては、  
 ①「教育の方法・技術Ⅰ」については、教職課程の認定に伴い、文部科学省教職員課免許係より指導を受けた結果、「教育の方法・技術Ⅰ」、「教育の方法・技術Ⅱ」を統合し「教育の方法・技術」とした。  
 ②「外書講読」については、多様な学生（併修免許希望者）の要望と、教員養成課程として本来の専門教育の充実を図った結果、学生の授業外での学修時間を確保するために科目を廃止した。  
 ③「教育学・教科研究法Ⅰ」については、全学共通の初年次教育科目「大学基礎演習」を新たに開設したことにより、「教育学・教科教育法Ⅰ」と「教育学・教科教育法Ⅱ」を統合し「教育学・教科研究法」とした。  
 ・平成21年度入学生に対するオリエンテーションや掲示、履修要覧等で周知徹底を図った。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計 (5)}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計 (256)}} = 0.01$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。  
 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)  
 3 「(3) 未開講科目」は、届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 4 「(4) 廃止科目」は、届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。